

「CR-V e:FCEV」を H2 & FC EXPO で世界初公開 ～プラグイン充電機能を持つ新型燃料電池 SUV～

Honda は、2024 年夏に日本で発売予定の新型燃料電池車、「CR-V e:FCEV（シーアールブイエーエフシーイーブイ）」を2024年2月28日（水）から3月1日（金）まで東京ビッグサイトにて開催される「H2 & FC EXPO[春]2024～第21回[国際]水素・燃料電池展[春]～」で世界初公開しました。

CR-V e:FCEV 特設サイト <https://www.honda.co.jp/CR-V-efcev/new/>



CR-V e:FCEV

CR-V e:FCEV は、日本の自動車メーカーが発売するモデルとして初めて^{※1}、外部から充電可能なプラグイン機能を持つ燃料電池車です。燃料電池車を持つ長い航続距離と水素の充填時間の短さといった特長はそのままに、家庭や外出先で充電できるプラグイン機能を加えることで利便性をさらに高めています。これにより、CR-V e:FCEV の一充填走行距離は600km^{※2}以上、EV 走行可能距離は60km^{※2}以上となる見込みです。また北米地域や中国などで販売している6代目 CR-V をベースにすることで、SUV ならではのユーティリティーやパッケージで個人のお客様の多様なニーズにもお応えします。CR-V e:FCEV には、Honda とゼネラルモーターズ（GM）が共同開発し、両社の合弁会社である Fuel Cell System Manufacturing, LLC（米国ミシガン州）で生産される燃料電池システムが搭載され、Performance Manufacturing Center（米国オハイオ州）で生産、日本に輸出されます。CR-V e:FCEV は、2024 年に日本に加え北米での発売を予定しています。

Honda は、2050 年に Honda の関わる全ての製品と企業活動を通じてカーボンニュートラルの実現を目指すとともに、製品だけでなく、企業活動を含めたライフサイクルでの環境負荷ゼロの実現に向けて、「カーボンニュートラル」「クリーンエネルギー」「リソースサーキュレーション」の3つを柱に取り組んでいます。その中で水素を、電気とともに有望なエネルギーキャリアと位置づけており、30年以上にわたり水素技術や FCEV の研究・開発を行っています。

2002 年には「FCX」が、FCEV として世界で初めて米国環境保護庁およびカリフォルニア州大気資源局認定を取得し、日本と米国でリース販売を開始しました。2008 年には「FCX クラリティ」、2016 年には「CLARITY FUEL CELL（クラリティ フューエル セル）」のリース販売をそれぞれ開始するなど、FCEV の開発に取り組んできました。

※1 2024年2月時点 Honda 調べ

※2 WLTC モードでの社内計測値

【CR-V e:FCEV の主な特長】

■ グランドコンセプト「E-Life Generator」

およそ3分の水素充填時間によるストレスフリーな長距離ドライブと、日常走行でEVのような使い勝手を提供するプラグイン充電機能にSUVの走破性・機能性をあわせ持つ、身近に使える燃料電池車として開発されました。また、外部給電器による高出力な電力供給に加え、普通充電ポートに接続する給電専用コネクタにより気軽に電気を取り出すことができ、日常やレジャー、停電時など、あらゆる場面での利便性・安心を提供します。

■ パッケージング

室内は、ベースとなったCR-V同様のゆったりとした居住空間を確保しています。また荷室は、水素タンクの張り出しを使い勝手に積極利用するアイデアを採用、フレキシブルボードを使ったフラットで広いラゲッジスペースと荷物の整理がしやすい2段式の荷室を実現しています。

■ デザイン

エクステリアは、歴代のCR-Vが持つスポーティーかつ機能的なスタイリングに、「クリーン」「タフ」「アイコンック」をキーワードとしたFCEVらしい知的な佇まいと力強さを表現しました。またインテリアはCR-Vの持つ上質さとタフネスさはそのままに、環境に配慮した素材としてシートにバイオ合皮を採用するなど、人と環境に寄り添うFCEVのスタイルを提案しています。

■ 燃料電池システム

GMと共同開発した燃料電池システムは、「CLARITY FUEL CELL」に搭載していたものと比較し、白金使用量の削減やセル数の削減、量産効果などでコストを3分の1にするとともに、耐久性を2倍に向上させさらに耐低温性も大幅に向上させました。また燃料電池システムを中心としたパワーユニットを一体化することで小型軽量化を実現。ベースのCR-Vのエンジンマウントをそのまま活用できコスト低減に寄与するとともに、衝突安全性も向上させました。さらに振動や騒音がCLARITY FUEL CELLと比較し大幅に低下し、走りの上質感を大きく向上させることができました。

■ 充給電機能

AC充給電コネクタは日本と米国における普通充電の規格である「SAE J1772」を採用。家庭のACコンセントに接続して、気軽に車両の充電を行うことができます。また、普通充電ポートに、AC車外給電用コネクタ「Honda Power Supply Connector（パワーサプライコネクタ）」を接続することで、最大1500WのAC給電が可能な外部給電機能も装備し、停電時やアウトドアなどのレジャーでの電源として活用できます。さらに日本仕様には荷室内に設置されたCHAdeMO方式のDC給電コネクタに「Power Exporter e:6000（パワーエクスポーターイー）」、「Power Exporter 9000」などの可搬型外部給電機を接続することで、非常時や屋外イベントなどで高出力の電力供給が可能なDC外部給電機能も装備しています。

【H2 & FC EXPO[春]2024～第21回[国際]水素・燃料電池展[春] 開催概要】

- ・主催者：RX Japan 株式会社
- ・開催日程：2024年2月28日（水）～3月1日（金）
- ・会場：東京ビッグサイト
- ・公式ウェブサイト URL：<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/fc.html>

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター-0120-112010」へお願い致します。